

SFM 協議会の現状について

1 協議会参加団体

148 団体（令和7年9月末現在）

【芸術分野】18 分野（62 団体）

- ・演劇（14 団体）
- ・学校（8 団体）
- ・オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽等（6 団体）
- ・絵画、版画、彫刻、書（4 団体）
- ・民俗舞踊（3 団体）
- ・ポップ、ロック（2 団体）
- ・民族音楽（2 団体）
- ・和楽器（琴、三味線、尺八等）（2 団体）
- ・落語、講談、漫才、コント（2 団体）
- ・ジャズ（1 団体）
- ・歌謡曲、演歌（1 団体）
- ・工芸、陶芸（1 団体）
- ・建築（1 団体）
- ・歌舞伎、能、狂言（1 団体）
- ・アニメーション映画（1 団体）
- ・歴史的な建物や遺跡、博物館、資料館等（1 団体）
- ・地域の伝統的な芸能や祭り（1 団体）
- ・その他（11 団体）

【施設提供】9 分野（86 施設）

- ・博物館、記念館（23 施設）
- ・ホール、劇場等（20 施設）
- ・美術館等（9 施設）
- ・画廊（9 施設）
- ・映画館（5 施設）
- ・ライブハウス（4 施設）
- ・寄席等（1 施設）
- ・図書館（1 施設）
- ・その他（14 施設）

2 会議体（令和7年度実績）

（1）協議会全体会（年3回）

①第1回（令和7年5月開催）

- ・令和7年度のSFM事業運営について（年間スケジュール）
- ・広報概要について
- ・参加団体の取り組みの紹介
- ・交流会

②第2回（令和7年9月開催）

- ・新規参加団体紹介
- ・オープニングイベント、コアイベントについて
- ・参加団体の取り組みの紹介
- ・交流会

③第3回（令和8年2月開催）

- ・参加団体の文化施設訪問見学会
- ・令和7年度実績報告
- ・各参加団体の活動報告（グループ発表）

（2）運営部会（年3回）

①第1回 令和7年5月開催

- ・協議会新規加入団体、退会団体の報告
- ・第1回協議会全体会の内容確認
- ・令和7年度のSFM事業運営について（年間スケジュール）
- ・広報方針について（ガイドブック作成等）
- ・オープニングイベント、コアイベントについて

②第2回 令和7年8月開催

- ・協議会新規加入団体、退会団体の報告
- ・広報方針について（ガイドブック作成等）
- ・オープニングイベント、コアイベントについて
- ・SFM報告書の編集について

③第3回 令和8年2月

- ・2025年度のフィードバック
- ・2026年度の運営方針について

3 SFMに対する意見

（1）第8期第1回・第2回振興会議での意見

- ・協議会のネットワークをもう少し強化したほうがいい。
- ・新宿の文化は、一点集中型ではなくて様々なところに拠点があることが特長である。
- ・区内の文化団体は非常に魅力的なものが多いものの、それが大きな纏りとして見えない。
- ・一つの団体だけでは魅力を伝えることには限界があるので、それを線にして面にするような、参加団体のまとまりが重要となる。

- ・需要者（利用者）と供給者（参加団体）の双方の観点で、SFMを拡大すべきである。
- ・魅力ある仕組みでなければ参加団体は増えないし、参加団体がやる気を出さないと、利用者に魅力あるものにはならない。
- ・参加団体の魅力が高まり、来場者・来館者が増える好循環を生み出すことができればよい。
- ・SFMに参加したことで他団体と接点を持つことができ、団体同士のコラボレーションが実現した事例があった。
- ・SFMの魅力を向上するために、参加団体を増やしていくことと、発信コンテンツを増やして

いくように働きかけが必要である。

(2) 協議会全体会での参加団体からの意見

- ・周知宣伝効果を期待している。
- ・SFMの中で「つながり」を期待している。
- ・様々な文化の接点となるプラットフォームとしての機能をより強化してもらいたい。
- ・団体同士の結びつき場となっていることがありがたい。
- ・お互いの施設同士を視察するようなプログラムを実施してもらいたい。